

牧之原市監査委員告示第 8 号

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 199 条第 14 項の規定に基づき、牧之原市長から監査の結果に基づく措置を講じた旨の通知があったので、次のとおり公表する。

令和 7 年 1 月 30 日

牧之原市監査委員
同

飯塚
植田

貴穂
博巳



牧 総 第 249 号
令 和 7 年 1 月 6 日

牧之原市監査委員 飯塚 貴穂 様

牧之原市監査委員 植田 博巳 様

牧之原市長 杉本 基久雄

令和 6 年度 定期監査（学校等監査）に関する報告及び意見について

令和 6 年 11 月 28 日付け牧監第 90 号により通知のあった学校等監査に関する報告及び意見について、別紙のとおり措置状況を報告します。

牧之原市役所総務課
担当：辻
電話：0548-23-0050



令和6年度の監査指摘事項に対する措置状況について

相良こども園

令和6年度の実地監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
【子ども子育て課】 (1) 郵券について、受払簿への受入れ及び払出しの記載漏れがあったため、月毎に伝票と照合するなど適正な管理に努められたい。 (2) 外国人世帯の増加や、保護者の保育園へのニーズが多様化する中で、トラブルの増加や職員への負担が懸念される。園内で大きな事案は発生していないとのことだが、引き続き職員は園児や保護者に対し丁寧な関わりに努めるとともに、園の運営方針に定める「安全の計画」に基づき、園児及び職員の安全を確保するための組織的なリスク管理に取り組まれたい。	(1) 受け入れ及び払い出し時の受払簿の記載については、記載時のダブルチェックを行うとともに、月毎に園長が受払簿の照合を行い適切な管理と事務処理に努めていきます。 (2) 今後も保育の質の向上とともに、園児や保護者に対し丁寧な関わりに努めていく。また、安全計画を適切に実施していく。

令和 6 年度の監査指摘事項に対する措置状況について

相良小学校

令和 6 年度の実地監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
【教育総務課・学校教育課】 (1) 授業等への I C T の導入により、様々な場面に合わせてコラボノートやデジタル教科書等の各ツールが活用されている様子が見えてくる。学校の重点目標である「自分から学びに向かう子」の実現に向け、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るため、今後もより一層 I C T を効果的に活用していただきたい。 (2) 校舎の老朽化による雨漏り箇所や、使用禁止箇所が多く見受けられた。修繕については予算及び学校再編計画を踏まえ、所管課と協議し計画的に進めるとともに、子どもの成長において重要な小学校の在学期間に、老朽化を理由に、一部の世代が不利益を被るということのないように、在校生に対する配慮をもって校舎維持管理に取り組まれない。	(1) ICT を活用した授業を教員がお互いに見合う、実践を紹介し合うなどの取組で、授業での活用率は向上しています。児童が授業で使う機会も増え、より効果的に活用するためにも、各学級に大型テレビを導入することを予算要求しています。次年度も、研修の柱の中に ICT 機器の活用を位置付け、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ります。 (2) 学校施設全体の老朽化は著しいが、学校再編計画を踏まえ、今後も関係部署及び学校と協議を重ねながら、必要な予算の確保に努めていきます。また、児童の安全を最優先に考え、一部の世代に不利益が被ることのないように優先順位をつけ、計画的な修繕を実施していきます。

令和6年度の監査指摘事項に対する措置状況について

相良中学校

令和6年度の実地監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
【教育総務課・学校教育課】 (1) 校舎の老朽化に加え、体育館や技術棟については空調設備の故障により夏場の授業に影響があったとのことである。生徒の健康にも充分配慮した学習環境を維持するために、所管課とともに必要な対策を講じていただきたい。 (2) 今年度、地震・津波被害を想定した避難訓練及び演習を実施したことで、避難経路における危険箇所の点検や、より効果的な訓練内容の検討など、今後取り組むべき課題への気づきがあったことは訓練の成果であったと言える。今後も訓練を通じて様々な視点での課題の発見に努め、具体的な避難計画や防災学習等に反映させていきたい。	(1) 校舎の老朽化については、学校再編計画を踏まえ、今後も関係部署及び学校と協議を重ねながら、必要な予算の確保に努めていきます。また、体育館や技術棟については、空調設備が未設置であることから、他の特別教室も含め、利用頻度等も考慮し検討していきます。 (2) 地震・津波被害を想定した避難訓練や、中学1年生の起郷家教育プログラム「命と防災」の実践等をとおし、生徒一人一人の防災への意識が向上してきています。学習の深まりにより、被災後の生活についても目を向けるようになり、食料や簡易トイレ、毛布などの備蓄についても課題としてあげられており、今後の避難計画や防災学習へ反映させていきます。